

令和3年度奈良県立医科大学医学部看護学科入学者選抜について（予告）

令和元年5月20日
奈良県立医科大学

奈良県立医科大学医学部看護学科では、令和3年度入試（令和2年度実施）の入学者選抜において、学力の3要素（①知識、技能、②思考力、判断力、表現力、③主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度）をより多面的・総合的に評価するため、大学入学共通テスト（以下、「新テスト」という。）の利用法等について、以下のように予告します。

- (1) 看護学科の一般選抜試験（前期日程）の第1段階選抜として、新テストの枠組みにおける5教科（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語）5科目を第1次試験として全受験者に課します。
- (2) 新テストの国語、数学については記述式問題を含むものとし、全受験者に課することとします。国語の記述式問題については段階別成績評価を点数化し、マークシート式の得点と合算します。数学については、大問の中でマークシート式問題と記述式問題が一体で出題され配点がなされることから、各々の得点を合算します。
- (3) 英語の4技能（読む、聞く、話す、書く）を総合的に評価するため、全志願者にCEFR対照表におけるA2レベル以上に相当する英語力を出願資格として求めます。具体的には、独立行政法人大学入試センターが大学入試英語成績提供システムへの参加要件を満たしていると認定した資格・検定試験（いわゆる「認定試験」）の成績がA2レベル以上である、またはA2レベル以上の英語の言語運用能力を有する旨の簡明な説明が、高等学校等の長等により調査書に示されていれば、出願を受理します。
なお、令和5年度までは大学入試センターが実施する英語試験を併せて課します。
- (4) 現行推薦選抜試験は、学校推薦型選抜試験に名称変更し、上記（3）に記載する、英語力を出願資格とします。大学入学共通テストは課しませんが、小論文、面接による個別学力検査を実施します。